



NAJYODONS

大和 紀伊半島学

保 智己 (大和・紀伊半島学研究所長 兼 共生科学研究センター長) : 写真下
寺岡 伸悟 (なら学研究センター長) : 写真左 西谷地 晴美 (古代学・聖地学研究センター長) : 写真右

02 **特集** 大和・紀伊半島学研究所設立記念鼎談 文系・理系の枠を超えて新たな研究分野を切り開く ～大和・紀伊半島学研究所設立に寄せて～

06 教養広場

13 奈良女にはユニークな附属学校があります! ~附属小学校・附属幼稚園編~

15 学生記者の声 /

学生記者の皆さんへ「記者活動証」を授与!! ~広報企画室より~
平成29年度学生表彰

17 入試情報 / 就職情報

19 なでしこ基金 / 生協50周年

12 研究の現場から最新情報をお届けします!

14 学生が賃貸アパートのリフォームに協力 ~暮らし人目線のより良い空間~

16 奈良女子大学 総合型選抜「Q」実施予告

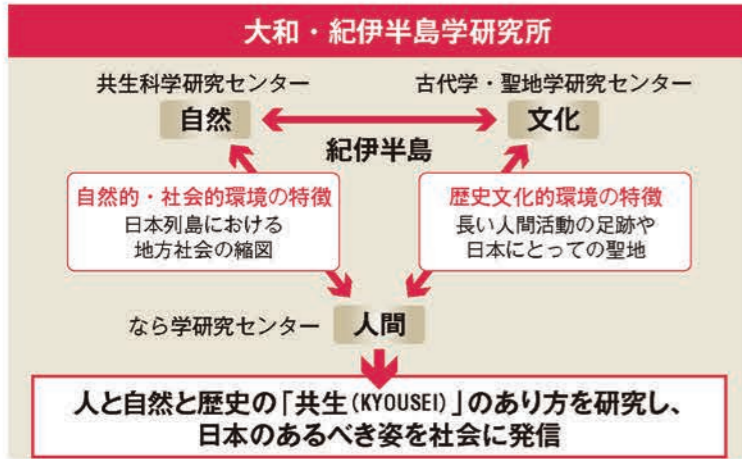
18 クラブ紹介

20 あの頃の奈良女へタイムスリップ!!

= 本学自慢の名物教授 第1回 岡潔編 =



奈良女子大学は2019年に創立百十周年を迎えます



行う「古代学術研究センター」、文学部の独自プロジェクトとして歴史ある奈良を現代から読み解く「なら学プロジェクト」がそれぞれ独立していました。今年3月からは古代学術研究センターは「古代学聖地学研究センター」、なら学プロジェクトは「なら学研究センター」を新設し、三つのセンターが統合する形で研究所が設立されました。これからは奈良県と紀伊半島を主なフィールドとし、三つのセンターが独自の視点で研究成果を出すことを目指すことになりました。

寺岡 共生科学は紀伊半島、古代学はかつて大和朝廷や平城京があった奈良盆地周辺、なら学は奈良盆地および吉野をフィールドの中心としていましたが、今回の統合でさらに裾野が広がったと言えます。研究対象は大和・紀伊半島エリアだけにとどまらず、このエリアで得た研究成果を別のエリアに応用したり、逆に、別のエリアの研究成果を大和・紀伊半島で試したりということも起こるでしょう。

——研究所設立以前は三つのセンターが連携して活動することはなかったのでしょうか？

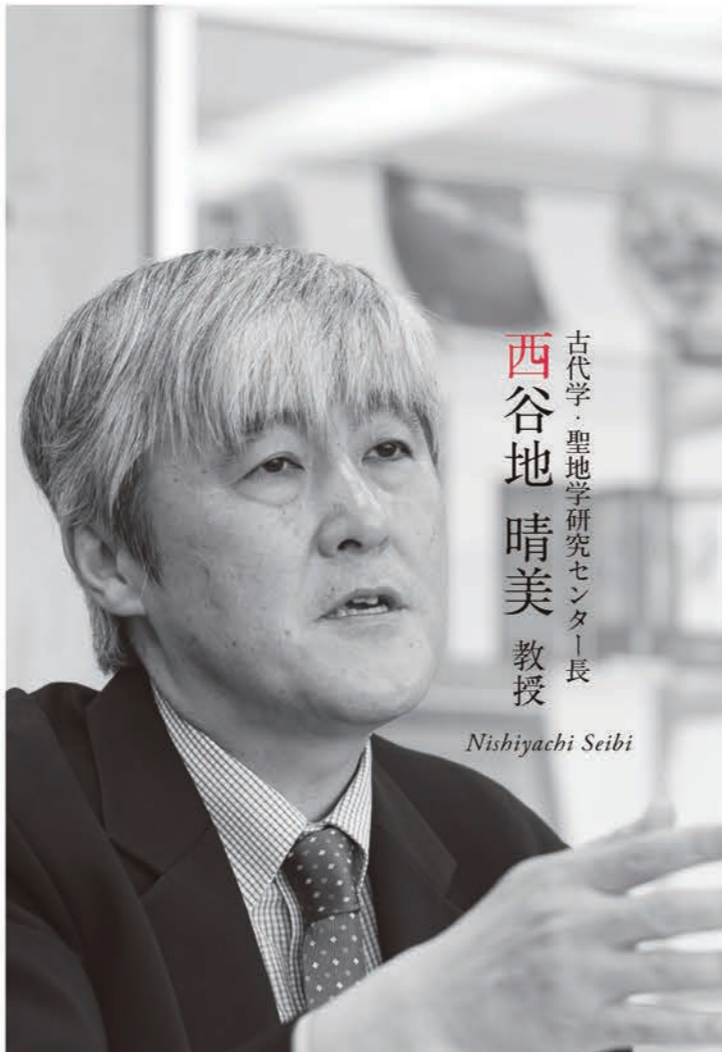
保 一部のメンバーが複数のセンターに所属するなど、個人単位での行き来はありましたが、センターという単位で一緒にやるという動きは実はこれまでなかったんです。

西谷地 例えば、古墳でカビの検出をするといった研究内容がオーバーラップする場合には、個人での連携はありましたが、奈良女は小規模な大学ですので、スムーズに協力できていたと思います。

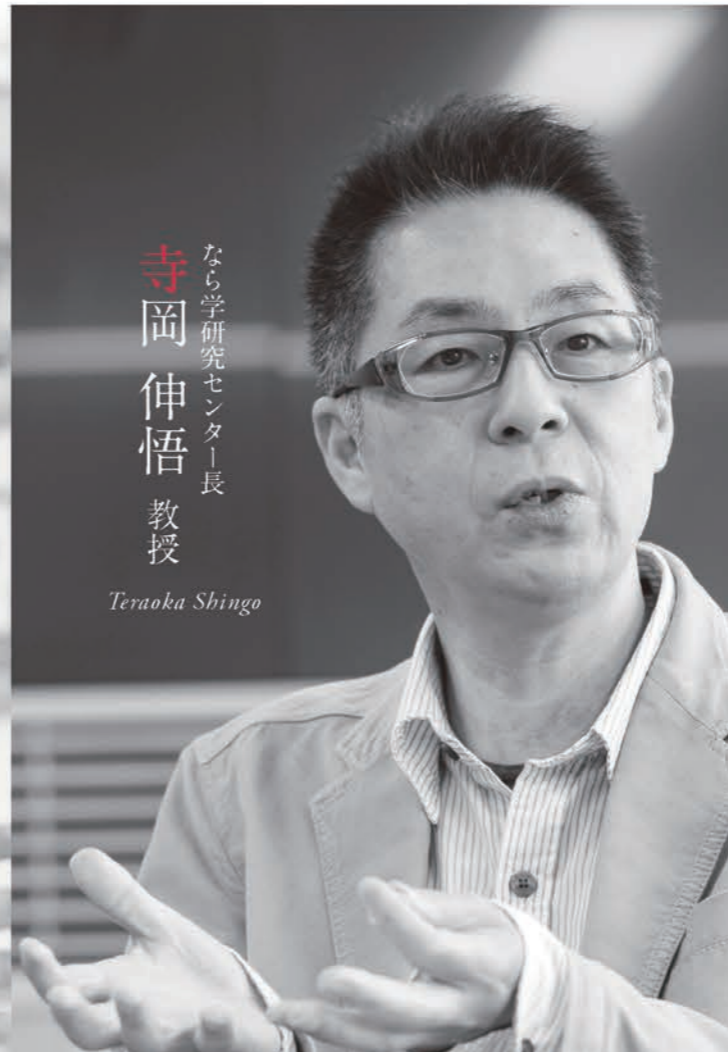
保 各センターで開催するセミナーで、他のセンターの先生に登壇していたんだけどケースもありました。昨年は、共生のセミナーに寺岡先生に参加してもらいました。

寺岡 そうでした。これからは同じ研究所になるということで、これまでよりも自然にそのような連携が生まれていくでしょう。

西谷地 これまでは、自分の研究に関わりの



古代学・聖地学研究センター長
西谷地 晴美 教授
Nishiyachi Seibi



なら学研究センター長
寺岡 伸悟 教授
Teraoka Shingo



大和・紀伊半島学研究所長兼
共生科学研究センター長
保智己 教授
Tamotsu Satoshi

特集：大和・紀伊半島学研究所設立記念鼎談
文系・理系の 枠を超えて新たな研究分野を切り開く
～大和・紀伊半島学研究所設立に寄せて～

専門は日本中世史。1989年、神戸大学大学院文学研究科単位取得退学。のち博士(文学)。神戸大学文学部助手、同講師、奈良女子大学文学部助教授を経て、現職。主な著書は『日本中世の気候変動と土地所有』(校倉書房)、『古代・中世の時空と依存』(塙書房)。

奈良県香芝市生まれ。京都大学文学部、同大学院文学研究科修了、博士(文学)。熊本大学講師、甲南女子大学助教授、奈良女子大学助教授を経て、現職。専門は社会学。特に地域マネジメント・観光・社会技術研究。長年奈良をフィールドとし、本学の「なら学」の授業やプロジェクトの世話人をつとめる。

専門は動物生理学、光感覚。岡山大学理学部、同大学院理学研究科修了、修士(理学)。のち浜松医科大学大学院医学研究科修了、博士(医学)。浜松医科大学助手、奈良女子大学理学部助教授を経て、現職。

2018年3月、「共生科学研究センター」「古代学・聖地学研究センター」「なら学研究センター」から成る「大和・紀伊半島学研究所」が設立されました。文系、理系の枠を超えた研究所の誕生を記念し、3名のセンター長にそれぞれの想いを語っていただきました。

(以後、名称について、保智己教授＝保、西谷地晴美教授＝西谷地、寺岡伸悟教授＝寺岡と表記)

大和・紀伊半島学研究所とは

——今回新たに設立された「大和・紀伊半島学研究所」とはどんなところでしょうか？

保 大和・紀伊半島エリアというと、奈良県の南側および和歌山県を中心とする地域という分け方もあるのですが、今回設立した大和・紀伊半島学研究所では奈良県全域を含めた紀伊半島周辺地域を主な対象にしています。紀伊半島は山と海の両方があり、山から海への距離が近いという日本の自然環境の典型的な特徴を持っています。また、古くから人が住んでいるエリアでもあり、自然と人間の関わり方や歴史にとっても興味深いものがあります。現代社会においては、過疎化や高齢化、少子化などの問題を抱えている地域でもあります。大和・紀伊半島学研究所は、日本のほほえみである奈良と、日本の縮図のような特徴を持つ紀伊半島をフィールドの中心とし、地域の自然と歴史、さらに現代社会の問題について総合的に研究していく施設です。

西谷地 昨年末までは、理系分野で自然と人間との共生循環を研究する「共生科学研究センター」、文系分野で古代を中核とした研究を

ある場合以外は各センターがどのような研究を進めているのかはあまり知りませんでした。今回それぞれのお話を聞いてみるととても面白い。統合によってこれからさらにどんな研究ができるのかワクワクしています。

保 3人で集まって話し合い、これから研究所としてやりたいことや課題点について、かなり議論を深めました。気兼ねなく「ここはこんな風に変えたらどうか」といった具合に話し合えるメンバーで本当によかったなと思います。

学問分野を超えた統合のメリット

——研究所として3センターが統合することによって、それぞれのセンターにとってのメリットは？

保 私がセンター長を務める共生科学研究センターは、2000年に設立されました。紀伊半島を研究フィールドの中心とし、自然環境と人間社会との共生を目指す「共生科学」という当時としては新しい学問分野を作ろうとしたのがきっかけです。自然や環境を研究する理系分野が主な活動となっていますが、先程もお話したとおり紀伊半島は古くから人が暮らす地域ですから、共生科学においては人間の歴史や文化についても同時に研究していく必要があるという想いが設立当初からありました。ですので、今回の研究所設立は、共生科学研究センターとしては研究の原点に返るいいきっかけとなったと感じています。

西谷地 研究所の設立は、それぞれにいい機会だと3人でよくお話ししましたよね。古代学・聖地学研究センターの前身である古代学術研究センターでは、古墳や都城制(中国に影響を受けた古代の都市設計)といった古代史の研究を目的としました。



都城制研究会の様子

寺岡先生からもご紹介があったとおり、私たちの研究フィールドは大和朝廷や平城京があった奈良盆地でほとんど完結していたんです。10年以上、狭いフィールドと限られた時代について研究し、ほとんどのことをやり尽くした状態になりました。今回の研究所設立によって紀伊半島までフィールドを広げるとなると、古代史だけの視点で見るとは難しい点もあります。ですが、日本史という観点から見ると紀伊半島はとても重要な土地です。そもそも奈良盆地だけの独立した空間があるわけではないですね。奈良を取り囲む地域としての紀伊半島は、研究対象としてとても魅力的です。3月からそれまでの古代学に加えて「聖地学」という学問分野に取り組むべく、センターの名称を変更しました。聖地学という学問は日本史のほうではまだ十分に確立されておらず、今まさに最先端の研究分野として立ち上が

体が東吉野分室を利用して一緒にになり、その中に大学が入っていくというような研究の輪が広がるのが、共同利用の施設として理想のあり方ではないかと思っています。
寺岡 文系や理系といった枠を超えた地域学の研究所というのは全国的に見ても珍しいのではないのでしょうか。今まで東吉野分室には行ったことがなかったのですが、3センターで利用できるようになったことで、研究会やイベントの新しいアイデアが生まれてきています。今まで学内でも知られていませんでしたが、なら学研究センターでは、吉野郡下市町のアクティビティセンターという施設をお借りしています。吉野の中央の入口でもあるこの場所で、歴史や自然、現代社会のことを考えるために利用してもらえらるのではと考えています。

大和・紀伊半島学研究所の今後の活動について

—— 具体的にどのような活動を予定されていますか？
保 研究所の広報活動の一環として、3センターが持ち回りでニュースレターを発行する予定です。初回は古代学・聖地学研究センターが担当です。各センターでセミナーやシンポジウムを随時開催します。これまでは各センター独自で行っていましたが、これから研究所内で各センターが自由に行き来できるようにしますので、参加したりお互いの協力を仰ぐのもよりスムーズになります。

西谷地 このほか、研究所の共同シンポジウムを年1回行う予定です。大学に所属している方だけでなく、地域で活動する方々が貴重な資料を集めていることもあるので

りつつある学問分野です。奈良県には奈良市内にある「古都奈良の文化財」、「法隆寺地域の仏教建造物」のほか、奈良の吉野、大峯や熊野三山などが含まれる「紀伊山地の霊場と参詣道」の三つの世界遺産があります。奈良県を歴史的に見る場合、紀伊半島もフィールドに含めるとこれらを広く捉えることが可能になります。古都奈良にキャンパスがある本学が古代と聖地について研究を行うことには意義があると考えています。

寺岡 なら学は今年、文学部のプロジェクトに加えてセンターが新設されました。なら学プロジェクトは全国で地域学という学問が登場しはじめていた2004年、歴史のある奈良を現代的視点から読み解き、情報発信していくことを目的として文学部内に立ち上がったものです。郷土研究の再評価に加えて、奈良盆地と吉野を主なフィールドに、地域を抱える現代の問題、例えば少子化や高齢化、それに伴う産業や文化の衰退といったものに対して、課題解決の方法や地域振興にどう繋げていくかという問題に社会科学から取り組んできました。地域学は複数の学問分野にまたがる要素があります。どの地域でも、自然環境の中で人は住んでいますし、歴史的な背景なしに人の生活を語ることもできません。自然や歴史が現代社会の問題と繋がっているのですが、なら学は小さな所帯でしたので、それらをしっかり含めるのは難しい状況でした。今回の研究所設立によって3センター一緒に活動できることになったのはとても喜ばしいです。郷土研究の再評価はもともと、社会課題解決のための技術や実践も学問として認める近年の世界的潮流になら学はいち早く乗り込みたいと思います。

すね。第1回はそのような資料を再評価するというシンポジウムを吉野郡大淀町で開催します。

寺岡 「吉野熊野国立公園の父」と呼ばれる岸田日出男（きしだひでお）さんが生前に収集された資料が、最近になって大淀町に持ち込まれました。昭和初期の吉野熊野が映し出されたフィルムや、女人禁制関係の文書、ニホンオオカミのものかもしれない骨など、郷土史の域を超えた貴重な資料が遺されていたんですね。大淀町と大和・紀伊半島学研究所の共催という形で、今年の12月にこれらの資料を紐解くシンポジウムを開催することになっています。様々な分野の専門家や地域の方に資料を見ていただくことで、新しい発見があるのではないかと考えています。

西谷地 歴史や自然の視点からも、とても面白い資料がたくさんありましたね。学内ではなく、県内の地域に向かい、そこに住む方々と共に考えていく第1回のシンポジウムは、この研究所にとって象徴的なものになるでしょう。

読者の皆さんへ

—— 高校生の皆さんや、読者の方に向けてメッセージをお願いします

保 研究というものは、「やりたい」という意思があればいつでもできるものなんです。いろんなことに興味を持ち、疑問に感じることは楽しいことです。これまでも、実験や研究の相談に乗ったり、野外体験実習を毎年開催したりといった取り組みがありました。大和・紀伊半島学研究所ではさらに多くの方に利用していただけるように努めてい



郷土史の再評価作業（資料検討の様子）

共同利用・共同研究で学外にも開かれた場に

—— 研究所の課題点と、活動していく上での方針をお聞かせください

保 研究所設立にあたり、課題点についても話し合いを重ねてきました。その中で、3センターに足りないものとして挙げてきたのが、大学の施設や研究資料を外部の研究者や一般の方々にもオープンにする「共同利用」という考え方です。これまで、研究者向けの共同利用の施設という大学関係者が対象だとイメージされがちだったのですが、実際には地域の小中学校の先生やサークル、NPOなど、大学に所属しない方もいるんな形で研究をしていらいやっています。そういう方々にも、施設や資料を利用していただけるような仕組みを作っていきたいですね。今まで個別での対応はあったのですが、規模としては小さいものでした。施設や研究資料

きたいと考えています。大学の研究資料を公開したり、皆さんの疑問にお答えできる機会もどんどん作っていききたいですね。



夏の小中学生対象野外体験実習の風景

西谷地 高校生の方が学んでいる歴史というものは、研究者によって作り上げられたストーリーを過去の事実として知ることなんです。それをさらに細かく突き詰めたり、仮説を組み替えることは大学の研究者にならなくても可能です。私たち大学の研究者は、従来とは違った研究対象を設定したり、研究領域を拡大することによって、それまでにはまったく見たこともなかったストーリーを描こうとします。多様な過去のストーリーを導き出すという、歴史研究の最も面白い部分を、新しい研究所で示せたらと思っています。

寺岡 高校生の方は、文系、理系といったコース別のカリキュラムに早い段階で分けられ、様々な分野を体験する前に大学を選ぶといったケースもあると思います。このた

を使いたいという申し出があった際、記録に残らないという課題もあります。どこまでの施設をオープンにできるか、貸し出しの際の管理はどうするのか、など考えるべきことはたくさんありますが、実現を目指していきたいです。

同時に考えたいのが、共同研究です。共生科学センターでは学外の方に対しても協力研究員というポジションを作り、学会や論文発表の際に所属としてセンターの名前を使える仕組みがありました。大和・紀伊半島学研究所でもさらに広げていきたいですね。

寺岡 大学だけで閉じてしまおうのではなく、民間や自治体など地域社会で活躍する方々と共に研究する流れはすでに進んでいます。

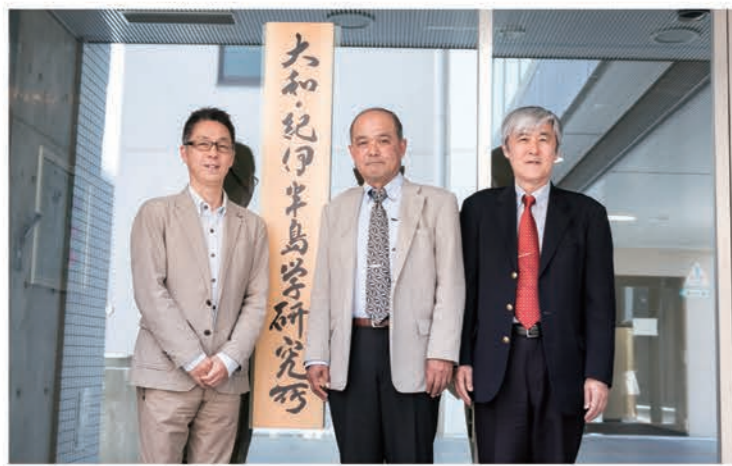
西谷地 公募研究も大和・紀伊半島学研究所として3センター共通の活動になります。共生科学センターです。すでに実績がありますが、今後は、研究所として、外部の研究を対象とする公募を実施し、共同研究を行うという試みも推進していきたいです。

—— 「共同利用」について、もう少し具体的に教えていただけますでしょうか？

保 吉野郡東吉野村のものと小学校だった建物の3階1フロアを共生科学研究センターの東吉野分室として使用させていただいたのですが、昨年度より1階、2階を加えて計3フロアを借りられることになりました。現在改装中ですが、紀伊半島に関する資料展示や、簡易な観察装置、飼育設備などを備えていけたらと思っています。もちろん理系分野だけではなく、古代、なら学、社会科学など様々な学問分野で施設を使っていたらいいですね。それまで別々に活動していた団

び設立された研究所は、それぞれに専門分野がありながらも、奈良や紀伊半島という切り口で多様な学問が交流することになります。研究会や勉強会がたくさん立ち上がることになりそうですので、どんなものがあるのか、タイトルを眺めてもらえただけでも、研究の面白さを感じてもらえるのではないのでしょうか。西谷地先生のおっしゃるとおり、自分自身の手で新しい発見や興味のある分野を見出す場になればと思っています。

保 文学部に所属している学生が神経生理学の授業を受けた、といった相談をすることもあります。所属する学部や学問分野にとらわれず、自分にとって本当に面白いと思えるものを見つける場を提供していきたいですね。



ことばから人間を見る
日常会話に現れる特徴とは

文学部 言語文化学科
ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース
教授

須賀 あゆみ

すが あゆみ

【研究テーマ】
相互行為における指示表現
【担当授業科目】
英語学概論、英語学講義、英語対照論演習、プラクティカル・イングリッシュ他

先生の研究内容について教えてください
日常会話の中で、自分が頭の中に浮かべている人やモノを会話の相手に伝える際に、どのような指示表現を選ぶか、という研究をしています。具体的には、自分で録画して集めた会話データや、会話分析の資料として使用許可をいただいている電話のやりとりを、何度も見たり聞いたりした後、文字におこして分析を行います。その中で、ある対象を指示する際に、名前の呼び方（ニックネーム、苗字など）や具体的な説明（背の高い人、茶色くて固いモノなど）をどのように選んで相手に伝えるか、またそれを聞いた相手が認識できたことを示すために、どのように返事をするか、そして会話がどのように進められるのか、を研究しています。



授業の中で会話データ収録の実習を行う様子

通点相違点は何か？
—— 会話分析における日本語と英語の共通点相違点は何か？
日本語と英語に共通しているのは会話の大きな組み合わせです。一つの話題の中で、ある人やモノについて何を指すかという交渉があつて、その交渉が終わると本題に復帰する、という流れは同じです。指示表現の選び方も、名前を使うか説明的な言葉を使うか、相手によって一番伝わりやすいものを選ぶという点で共通していますね。相手の反応を見てなるべくスムーズに会話が進むように瞬時に軌道修正していくプロセスが見られるので、このような人間の能力はとも興味深いものです。
違いは、文構造ですね。英語は最初の数語を聞けば主語・時制・動詞がわかるので大体的な内容の予測ができますが、日本語は語順があいまいだったり、終わるまで聞かないと時制や肯定か否定かがわからなかつたりします。そのため、英語の会話では、話を聞きながら相手が返事の準備をできるようにして、日本人の話し方は「Wait and See Method」と呼ばれ、文の終わりまで注意深く聞き、そこから次の人が話し始めるようになっていきます。この方法で日本語話者が英語で会話をすると、例えば相手から誘いを受けた時でも返答に少し間があいてしまうんです。間があくというのはあまり乗り気ではないという場合が多いので、相手が英語話者であると、乗り気でないのかと勘違いされまじうことがあります。
—— 会話分析のサンプルの集め方はどのようになさっていますか？
音声と行動のデータを集める方法は、大きく二つあります。一つは、協力者を探して、

言語学に興味を持たれたきっかけを教えてください
私は奈良女子大学出身で、3年生になって当時の英語英米文学科に進んだのですが、そのときに受けた授業の中で、語法研究という研究領域に出会い、面白く感じました。語法研究とは、本や新聞、会話などの「生きた」データを大量に集め、自分のテーマとして決めた言葉の実際の使われ方を研究するものです。
それから、私は茨城県出身なので、奈良に来てから今までと違うさまざまな言葉を聞くようになったことも刺激的な体験でしたね。話すスタイルやテンポも、自分と関西の人とはかなり違っていたんです。そんな中で、面白い話し方ってなんだろう、ということを考えていこうになり、その答えを見つめるために実際の言葉の使われ方を研究するようになりました。

会話分析のテーマの見つけ方はどのようになさっていますか？
会話分析をしている研究者の一般的な方法は、まず日常会話をたくさん集めて、そのデータを先入観を持たず無心で何度も眺めることです。眺めるうちに、同じような現象が何回か出てくることに気づきます。そうしたらその現象についてさらにデータを集めて分析していくと、それが一つの研究になります。日常会話といっても、例えば、初対面の男女の会話、家族の食事の時の会話、店員と客の会話など状況をしばって会話を集めると、その状況ならではのテーマになります。特徴が見つかります。日頃あまり意識しない人と会話しているの、実際にデータとして会話をたくさん集めてみないと、どんな特徴があるかはなかなかわかりません。別の方法としては、すでに研究されているビデオカメラで録画する方法です。録画をする際には、研究目的やデータの扱い方などを示した承諾書へ協力者に署名していただき、カメラを気にせずできるだけ自然なふるまいをお願いします。時間は、目的や状況にもよりますが、30分から1時間程度録画することが多いです。研究者の中には、特定の場面の会話を集めるために数年かけているような方もいます。
もう一つは、もともとあるデータを使う方法です。さまざまな研究プロジェクトで収集した会話の音声や文字データなどがまとめられたウェブサイトがあり、研究目的であるとして許可を取れば使用することができます。ウェブサイトにまとめられる前は、音声データを購入していたので、便利になりました。
一つの現象についての研究にどれくらいのデータ量が必要か、はつきりとした個数は決められませんが、多いほど研究の質はよくなります。また、同じような現象だけを見ていくのではなく、サンプルの少ない、例外的な現象も、研究をサポートする材料になり得るので、丁寧に分析していく必要があります。

今後の研究テーマを教えてください
そうですね、これまでしてきた指示表現の研究の延長として、人やモノの指示表現だけでなく、お互いが過去に経験した出来事について「ああいうことしたよね」と確認しあつて、それをベースに次の会話へ進む、という際の指示表現も研究していきたいと考えています。あとは、社会的環境の違いがどう言語に表れてくるか、というのに関心のあるテーマのひとつです。特に、女子大学で講義、研究をしているので、女子学生の言語活動について、「コミュニケーションの進め方の特徴など



学生記者：松原結花

現象について、他の言語ではどうなっているかを調べる、というものがあります。会話分析は英語圏から始まったので、関連する英語論文は数多く出ています。その中で面白いと思った英語での現象があれば、同じ現象が日本語ではどうなっているかということテーマにすることが出来ます。
私の場合は、もともと談話分析というアプローチの仕方で指示表現の研究をしていました。談話分析とは、文の中で新情報は後ろにくる、相手の知っていると思われる情報には代名詞や指示詞を使う、などの文構造をもとに文と文のつながりを研究していくものです。ですが、2000年に、在外研修としてコロンビア大学のバーバラ・フォックスという研究者のもとで10か月間勉強する機会をいただいたときに転機が訪れました。会話分析について基礎から学び、談話分析よりも会話分析のほうが自分の研究のアプローチも詳しく見ていきたいです。

最後に、高校生に向けて一言お願いします
高校生の皆さんは大学受験に向けて自分に必要な科目を生懸命勉強しているかと思いますが、大学に入ってから新たに面白いなあと感じる学問の領域が見つかることもあります。ですので、高校生のうちから自分の可能性を狭めずに幅広く学んでほしいと思います。大学生になってからもその学びの姿勢を忘れずにいてほしいですね。
(学生記者：松原結花)

須賀先生のもとで学びました！



須賀先生の研究室では、会話分析について学ばせていただきました。何気なく聞き流している日常会話の中におもしろい現象や仕組みがあり、新しい発見にわくわくしながら研究した記憶があります。先生は小さな疑問にも丁寧に答えてくださり、熱心にご指導くださいました。ゼミの時間は和気あいあいとした雰囲気色々な意見を出し合っただけで楽しかったです。

黒岩 裕子(くろいわ ゆうこ)
文学部言語文化学科言語情報学専攻 現 三好市役所
出身校 徳島県立池田高等学校

データが紡ぐ未来へ
確率論・統計学

〜現実と確率のつながり〜

理学部 数物科学科
数学コース
助教

嶽村 智子

たけむら ともこ

【研究テーマ】
確率論(Probability Theory)
特に、確率過程論
【担当授業科目】
確率論入門、数理統計学、確率解析学、確率解
析学演習など



先生の研究内容について教えてください
私の研究の専門分野は確率過程論です。
不規則に運動し動きが予測できないものを
対象としており、積分、微分など数学の手法
を用いて運動の特徴づけることを目標に研
究をしています。
例えば、木から花びらが落ちていく様子は
自然現象の中にありますが、小さな花びら
は真つ直ぐに落ちるわけではなく、ジグザグ
に落ちて、次にどんな風に落ちていくかが予
想できません。それをどういう風に捉え、ど
のような法則で散っているのかを考えるた
めの基礎となる分野です。もつと簡潔に言う
と、木の根に偶然花びらがのることがあると
思いますが、どれくらいの割合で起きている
のかを考える(計算する)ための理論を構築
しています。

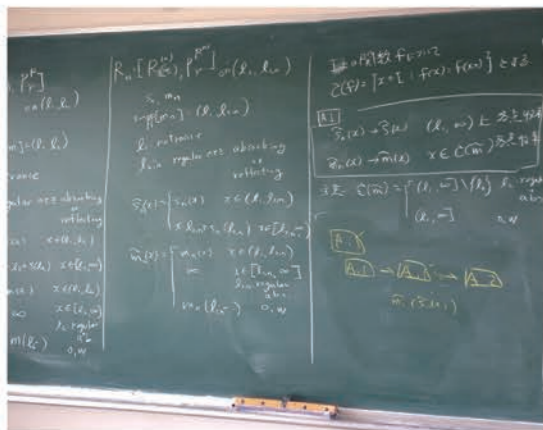
数学は世界中で研究されていますので、
本や論文は基本的に英語で記述されていま
す。海外での講演はもちろんです。論文の
執筆もすべて英語で行っています。

確率と統計学の違いについて教えて
ください

確率は、確率空間という抽象的な空間の
下で性質を調べていく確率論といわれる学
問です。一方、統計学はこういう状況が起き
たということがわかっていて、実際はどのよ
うな法則でその状況が起きているのか検証
する、調べるための学問です。

先生は確率・統計学のどういったこと
に興味を持って研究に進まれましたか？

大学で学ぶ統計・確率は無限大を取り扱っ
ています。たくさん起こることを考えるこ
とは難しいし、何をやっているのか全く初め



研究をまとめるときの板書



学会で訪れたカナダの大学

は解らない分野でした。でもその解らないこ
とがおもしろい、解らないからこそ、もつと
勉強して知りたい、理解したいと思うようにな
って研究の道に進みました。

空気中のホコリなど粒子を捉える研
究、特に伝染病の拡がる様子などの確率過
程を研究されているということですが、それ
についてもう少し具体的に教えてください

例えば、花びらが散っていく様子を目で追っ
ていった経路を線で結んでいくと三次元の空間に
描かれる関数になっています。難しい表現にな
りますが、動いていく様子を描くとX軸・Y軸、
Z軸の中の曲線になります。そのように不規則
に動くものを関数の集まりとして捉えること
ができます。問題を簡単にして、XY軸を通る
二次元の平面でその中を通る直線を考えてみ
ましょつ、XY平面に直線をひくと二次関数が
描けます。一次関数を全部集めたものを考えて

高校数学にも確率、統計分野がありま
すが、大学で学ぶものとはどういった違いが
ありますか？

中学・高校と大学で学ぶ確率・統計の違いに
ついて説明します。まず、中学・高校の確率・統
計の問題は起こりうる全体の割合の数を考
えてその中から知りたい条件の下での場合の
数を調べてどういう割合でそういう現象が起
こっているのかを考えていると思います。例
えば、サイコロやコイン投げは起こる事象の場
合の数が求められます。しかし大学で取り扱
う状況は必ずしも場合の数が数えられると
は限りません。例えば、ダーツや弓道の矢を
的に当てることを考えると、的を半分に割つ
て右半分に当たる確率は？と聞かれると直
感的に二分の一だと想像ができます。しかし、
実際ダーツや矢が的に当たる場合の数は、無
数に考えられて、場合の数が無限大となつて
います。中学・高校では全ての場合の数(有限
の数)と与えられた条件の場合の数(有限の
数)の比で確率が考えられるのに対し、大学
で取り扱う確率は有限とは限らない数(無限
大)と有限とは限らない数(無限大)の比も捉
えるところが一番違います。

いろいろな分野で応用されている確
率・統計学ですが、特に理学部で学ぶ確率・
統計学はどのような特徴がありますか？

確率・統計は、昔から心理学・医学・物理学・生
物学・経済学など様々な分野で応用されてい
ますが、近年ビッグデータにも応用されてい
ます。このように多くの分野に活用されてい
る理由は、数学が抽象的に学ぶ分野であるこ
とが寄与しています。具体的な事象を考える
のではなく、抽象的な対象に対して少ない条
件の下でどのような性質を導けるかを考える
ことが重要になります。それが理学部の確率・
統計、ひいては数学の分野の根本になるところ

みてください。その中で、二次関数の傾きが正の
ものほど傾きが正の傾きで、傾きが0のもの
の傾きを除けば、傾きが正のもの、傾きが負のものが
Y軸を対称にペアになって存在するので、傾き
が正のものは全体の二分の一であることが直感
的にわかると思います。それが二次関数ならど
うでしょうか。三次関数を集めてきたものの中
でX軸と接するものはどれくらいの割合なの
でしょうか。ほとんど難しく問題を考えたい
ことができます。今は二次関数までを考えま
したが、粒子の動きを考えると、連続だけ
れど微分ができないような関数を考える必要
があります。中学・高校で習わない不思議な動
きをする関数の中で、どういう割合で関数を分
類することができるかを考えます。微分ができ
る、積分ができる、積分してどれくらいになる、
微分と積分によつてどういう方程式を満たすこ
ういふようなことを考えることによつて、ものが
動いていく様子を空間の中で関数として捉え、
抽象的に解析することができます。

偶然に左右される事象を数式化する
のは大変難しい研究だと思いますが、先生
が今まで一番難しいと感じられた研究は
何ですか？また、今ご興味のある研究内容に
ついてもお聞かせいただけると幸いです

今までというより今も研究は常に難しいと
感じています。研究というのは日々難しく、そ
の難しさを肌で感じて自分の知らないことを
知つていくことだと思えます。

今、一番興味がある研究は、連続的に運動し
ている物質が、ある場所に到達すると消滅を
したり、違う場所から現れるというような状
況に対応した確率モデルを考えることです。
具体的な応用例としては、飛行機や新幹線に
乗つて、インフルエンザのウイルスや花粉の粒
子がどのように動き、感染、拡散していくのか
というものがあつます。このような連続な



学生記者:中根明日香

先生は日々どのように研究なさつてい
るのかを教えてください

今、私は血管やチューブの中を運動してい
る粒子に対応した確率モデルを研究対象とし
ています。例えば、動脈硬化や血管が狭まっ
ていくような時にその中を動いていく赤血球や
白血球など様々な要素がどのように変化して
いくのかを解析するための理論を作つていま
す。実際は、そのようなモデルを考えるために
必要な関数の空間の設定や満たす性質を示
しています。そのため多くの数学の本や論
文を読んで研究をしています。研究で得た結
果を論文にまとめて他の研究者と議論をし、
更に研究を進展させるために国内外の大学
や研究機関を訪問して研究発表を行つてい

のから不連続な運動を取り出す研究に取り
組んでいます。研究は難しいですが、とてもお
もしろいです。

高校生の方へメッセージをお願いします

高校生の方には、解らないこと、点数が取
れないこと、何を悔やんで悩むよりは、何が解ら
ないのか、何をこの問題に伝えようとしてい
るのかなど考えることを楽しみに変えて過
ごして欲しいと思います。研究というものには
常に苦しく、解らないことが多くて辛いので
すが、それを楽しく変えることで解かつた
時の喜びもひとしおです。

(学生記者:中根明日香)

嶽村先生のもとで学んでいます!



私は確率論の研究室に所属し、生命保険について研究して
います。
数学が社会で直接役立つことはあまり無いと思っていま
したが、ゼミを通して、未来の見えないリスクを数学的に見ること
で、数学は社会に貢献できる、人生を傍で支える学問なのだ
と実感しました。
これからも数学の重要性を意識して研究していきたいです。

藤枝 亮子(ふじえだ りょうこ)
大学院人間文化研究科博士前期課程数学専攻現象解析学コース2回生
出身校:帝塚山高等学校(奈良県)

健康を支える栄養疫学
情報の確からしさを見極める

生活環境学部 食物栄養学科
教授

高地 リベカ

たかちりべか

【研究テーマ】
食生活とがんや循環器疾患との関連、ICTを活用した食事評価システム開発と妥当性の検証、減塩のポピュレーションアプローチの開発
【担当授業科目】
公衆衛生学、公衆栄養学、公衆栄養学臨床実習、栄養疫学特論 等

先生の研究内容についてお聞かせください

疫学という学問分野で研究しています。疫学とは「実際の人の集団」において、「健康を規定する要因」と「健康状態」の因果関係を検証する学問です。
私は疫学の中でも特に栄養疫学を専門としています。栄養疫学では、食生活をリスクファクター（ある特定の疾病を発生させる確率を高めると考えられる要素）と考えています。例えば、ソーセージやベーコンなどの加工肉や高塩分な食品の摂取習慣と、がんや循環器疾患との関係を、動物ではなく人で検証するといった研究になります。つまり、栄養疫学は食生活や栄養を健康の規定要因として、健康・疾病との関連を検証する学問といえます。



プログラムを書き、それらの情報を解析している時が一番幸せです。

——授業を通して学生に学んでもらいたいことは何ですか？

私は「公衆衛生学」「公衆栄養学」とその実習を担当しています。授業では、研究結果や健康情報を精査し、確からしさを見極めるための方法を学んでいます。教科書の内容をただ暗記したとしても、もしかしたら10年後には研究結果がひっくり返るかもしれません。だからこそ、どんどん新しくなっていく



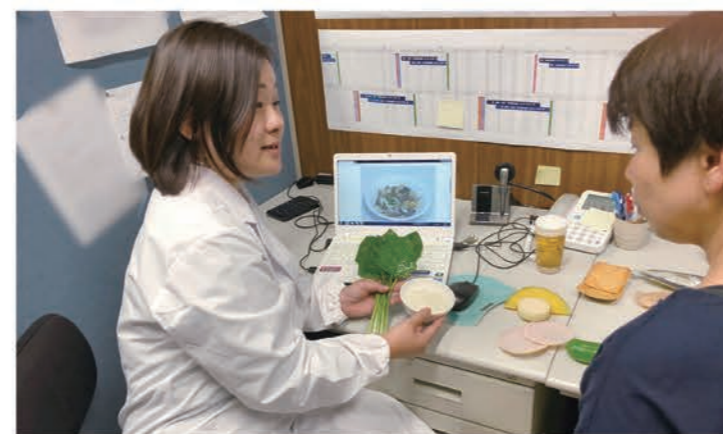
学生記者：山本朝

——奈良女子大学で栄養学を勉強することについてどのようにお考えでしょうか？

奈良女子大学の食物栄養学科には、私のように人を対象とした実践的な研究の他にも、食品から抽出した栄養素や機能性物質の研究や食品開発など、栄養学といっても様々な分野の先生方がいらっしゃいます。健康と栄養について、人の食生活や健康の調査と食品やその機能性に着目した実験研究の両面から学びを深めていくことが出来る大学だと考

何がきっかけでこの研究分野に進まれたのですか？

私は大学を卒業した後、保健所や保健センターで行政機関の管理栄養士として7年程働いていました。その時に勤務していた地域の方がテレビを見て、「納豆はいいでしょ？」「バナナはいいんでしょ？」「ほうれん草は駄目なんだよね」と、健康情報を仕入れては尋ねて来られるということがありました。私はその質問に対して、それぞれの食べ物が何に良く何に悪いのか、説明するための言葉を持ち合わせていないことに気が付きました。そんな時に、栄養疫学研究の結果をわかりやすく発信されている先生と出会い、この学問の面白さを知りました。栄養疫学に触れるうちに、実際に食と健康について説明するための「言葉」として、疫学という研究分野には学ぶべき



食事調査の様子

大切なことがたくさんあると感じました。学生の頃に学んだカリキュラムに疫学や栄養疫学は含まれていなかったため、大学院に行つて再び勉強しようと考えました。さらにその後、栄養疫学について教えてくださった先生のもとで博士課程に進むことになり、栄養疫学を専門に研究することになりました。

——研究で楽しいと感じる瞬間はどんな時ですか？

私に関わっている国立がん研究センターの「多目的コホート研究（あらかじめ要因となる可能性をもつ生活習慣などの要素を調べ、未来に向かつて生死や疾患等の健康状態を追跡調査する方法）」では、14万人の人々を20年以上追跡しているので、非常に大きなデータを扱っています。統計ソフトを使っ

高地先生のもとで学びました！



卒業研究では、食事調査法の開発に携わりました。食事調査は栄養学的介入の基本でありながら、教科書上では数ページの説明で終わってしまいます。しかし、実際には食事調査の方法にはそれぞれ特徴があり、知れば知るほど奥深い世界でした。基本を突き詰めて考えること、その難しさと大切さを学んだ研究室での1年でした。

大内 詩野(おうちしの)
生活環境学部食物栄養学科 現 愛媛県八幡浜保健所(管理栄養士)
出身校:愛媛県立松山東高等学校



もともと、人に対する研究に興味があり、特に病気の予防と栄養について学びたいと思い、公衆栄養分野に進みました。授業や研究室での活動を通して、文献を読み、解釈する力を伸ばすことができました。また「なぜそう言えるのか？本当にそうなのか？」という物事の根拠や結果に至るまでの過程をよく検討するようになりました。

杉原 未奈(すぎはらみな)
生活環境学部食物栄養学科 現 奈良県中和保健所(管理栄養士)
出身校:滋賀県立水口東高等学校

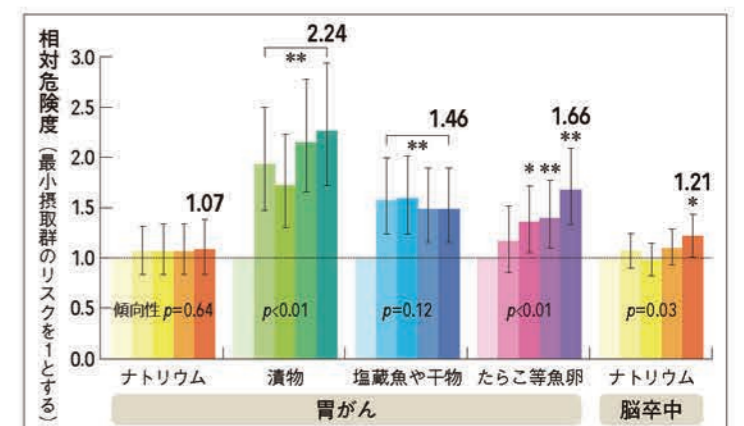


公衆栄養学研究室では、「味付けの好み・食行動と24時間尿中Na排泄量の関連について」の研究を行いました。疫学・統計の基礎や、情報を整理しながら理論立ててまとめる力を身につけることができ、現在は、それらを、仕事にも存分に活かして成長中です。また、BBQやお誕生日会などの行事を通して、先生方や友人の多様な考え方に触れられたこともとても大切な思い出です。

山岸 万里菜(やまざしまりな)
生活環境学部食物栄養学科 現 創味食品株式会社(開発部)
出身校:福井県立藤島高等学校

最後に奈良女子大学の学生 高校生の方へメッセージをお願いします

自分の食生活に興味を持ちながら、充実した学生生活を送っていたらいいと思います。栄養学や食生活や食品など、どのようなジャンルでも構わないので、学びの幅を広げていってください。ただ与えられるものを待つだけの勉強方法ではなく、自発的に探求していく姿勢を皆さんに期待しています。(学生記者：山本朝)



塩分・塩蔵食品と胃がん・脳卒中の発症リスク
国立がん研究センター多目的コホート研究(Takachi R, et al. Am J Clin Nutr. 2010;91(2):456-64.)

研究の現場から最新情報をお届けします！

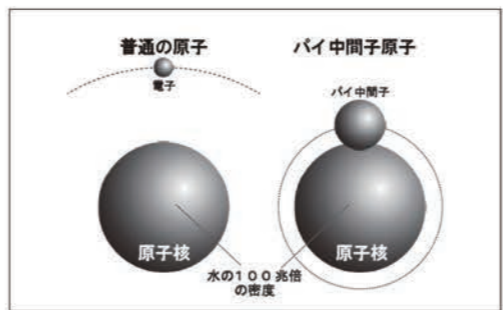


理学部 数物科学科物理学コース教授
比連崎 悟 ひれんざき さとる

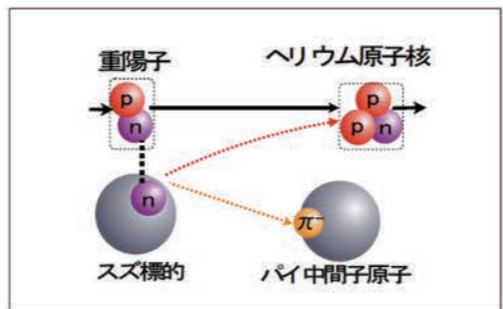
ハイ中間子原子で超高密度の世界を探る精密実験始動

本理学部数物科学科物理学コース比連崎悟教授を含む国際共同研究グループは、理研の重イオン加速器施設「RIBF」を用いた「ハイ中間子原子」を用いて、「ハイ中間子原子」という奇妙な原子を、従来の数十倍の時間効率で大量生成することに成功しました。

ハイ中間子原子とは、電子の代わりに「ハイ中間子」という電子の300倍の質量を持つ粒子を原子核に束縛させた原子で、水の約100兆倍という超高密度



普通の原子とハイ中間子原子の比較



ハイ中間子原子の生成反応

理学部数物科学科物理学コースで極めてエネルギーよくハイ中間子原子を生成することが出来たことは、今後の研究の発展にとって大きな意味を持つと考えられます。

の原子核内部の情報を得ることが出来ます。ハイ中間子原子を精密に調べることが、ビッグバンによる宇宙創生直後の超高密度のクォークの世界から現在の陽子、中性子、ハイ中間子等がどのように生じてきたかを解き明かす鍵となります。

コメント

今回の成果に、理論研究の面から貢献できたことを嬉しく思っています。ハイ中間子原子の研究は我々が中心に発展させてきたものでありますが、現在まで海外の施設でしか実験ができませんでしたが、今回、理学部数物科学科物理学コースで極めてエネルギーよくハイ中間子原子を生成することが出来たことは、今後の研究の発展にとって大きな意味を持つと考えられます。

※国際共同研究グループには、理化学研究所、奈良女子大学、鳥取大学、京都大学、東京大学、ノートルダム大学(米国)、ドイツ重イオン研究所(ドイツ)、ステファンマイヤー研究所(オーストリア)から39名の研究者が参加。
2018年4月13日付 米国科学雑誌 PHYSICAL REVIEW LETTERS 120, 152505 (2018) に掲載(DOI:10.1103/PhysRevLett.120.152505)

理学部 化学生物環境学科 生物科学コース教授

遊佐 陽一

ゆさ よういち

半世紀の継続調査を経て、世界で初めてウニ類に対する人間活動のインパクトを解明

遊佐陽一教授(本理学部化学生物環境学科生物科学コース)ら、京都大学瀬戸臨海実験所の関係者による、およそ半世紀にわたるウニ調査の結果、その長期変動の傾向および温暖化や水質汚染といった人間活動によるウニ個体群への影響が世界で初めて明らかになりました。

研究チームが、1963年から2014年まで京都大学所有の自然保護区である和歌山県島田で、出現したウニ類全種の個体群変動を調査した結果、近年の冬季の水温上昇に伴う南方種の増加傾向や、1970年代後半からの水質悪化とウニ



小穴に入ったウニ類(写真提供:京都大学 中野 智之博士)

個体数の減少との関係などが判明しました。また、島田周辺の海水を用いたムラサキウニの発生実験も41年間継続し、水質とウニの発生異常との関係も明らかになりました。

コメント

人間が海洋生物に与える影響は重大であるものの、その多くはゆつくりと生じます。そのため、正確に影響を評価するためには長年にわたる調査が不可欠です。実際に、公害が社会問題化した1960から1970年代に、長期の継続を目指して海洋生物の調査が世界中でスタートしました。ところが、長期調査は成果が出にくいいため、そのほとんどは、予算の枯渇や研究者の入れ替わりにより、中断を余儀なくされました。今回の個体群調査でも途中数年の中断はあるものの、大垣俊・小林直正両博士(ともに故人)達の不断の努力によって、40年以上にわたるウニの長期変動データを取得することができました。私はその最後の時期にお手伝いをして論文化を託されたに過ぎませんが、本研究によって、長期調査の重要性が少しでも多くの人に伝わり、同様に綿々と続けられている研究に光が当たることを望んでいます。なお、本研究はあと50年は続けられる予定ですので、その成果もお楽しみに！



ムラサキウニ(写真提供:京都大学 中野 智之博士)

※京都大学・瀬戸臨海実験所、同志社大学、国立環境研究所、大阪市立自然史博物館、本学の共同研究グループ
2018年4月25日 国際学術誌「Ecological Indicators」オンライン版に掲載(https://doi.org/10.1016/j.ecolind.2018.03.040)
Effects of temperature and red tides on sea urchin abundance and species richness over 45 years in southern Japan
Shun-ichi Ohgaki, Tetsuya Kato, Naomasa Kobayashi, Hidetomo Tanase, Naoki H. Kumagai, So Ishida, Tomoyuki Nakano, Yoko Wada, Yoichi Yusa

奈良女にはユニークな附属学校があります！

附属小学校・附属幼稚園編

幼稚園、小学校、そして中等教育学校(中学校と高等学校が繋がった六年一貫校)。奈良女子大学には3つの附属学校があります。これらの学校は、単に大学に附属しているのではなく、奈良女子大学の成り立ちに深くかかわり、一体となつてその個性と魅力をつくり上げています。二回に分けて、そのユニークな特色を紹介します。今回は、附属小学校と附属幼稚園を取り上げます。

子どもたちの主体的な学びのルーツ

附属小学校



時代を超えて受け継がれる授業スタイル

附属小学校ではこんな学びの風景が、なんと大正時代から続いています。奈良女子大学の前身の奈良女子高等師範学校(女学校の先生を養成する学校で、戦前は正規に女子が受けられる唯一の高等教育機関でした)ができたのが明治41年、附属小学校はその3年後に開校しました。世は大正デモクラシーの時代。教育の世界でも子どもの自発的で個性的な学びを重視する運動(大正自由教育)が盛り上がりつつありました。奈良女子高等師範学校附属小学校は、その

んな学びの風景が見られます。

教室では二人の子どもが前に座って司会をしています。学級会でしようか。でも黒板に書かれているのは算数の式やグラフ。板書をしているのも子どもたち。みんなで文章題の解き方を議論しています。次々と手を挙げて発言する子どもたち。先生は、というと、教室の後ろに立ってニコニコしているばかり。時間の終わり近く、司会の子どもが「先生のお話です」と振ると、前にやってきて「今日は○○さんの質問がよかったね」と、ほめる。先生の発言はそれだけ。

附属小学校の北側には、豊かな緑に囲まれた附属幼稚園があります。訪問するといつも、窪地の斜面の木立でも、その下の園庭や砂場でも、園舎の中でも、通路でも、子どもたちがいっぱい広がって、思い思いに好きな遊びに熱中しています。

豊かな環境と遊びが子どもを育てる

附属幼稚園

30年ほど前、日本の幼児教育には大きな転換がありました。子どもたちの自発的な遊びこそが保育の中心とされるようになったのです。奈良女子大学の附属幼稚園は、附属小学校と同様に大正自由教育の流れをひいて、早くから遊び中心の自由保育に取り組む、幼児教育の転換の先がけとなりました。自由保育では、子どもがそれぞれの興味に応じて様々な活動を選ぶことができる、

運動を代表する学校だったので、教育の主人公は子どもたちであり、学校は、子どもの生活から立ち上がる主体的な学びの場であらなければならない、というのがこの学校のモットーでした。

附属小のスタイルは戦争中も生き延び、戦後の教育改革を経て、今日でも総合学習やアクティブラーニングといった新しい取り組みが導入される際には、いつも全国的なモデルになっています。教育の世界では「レジエント」と言っても過言ではありません。

豊かな環境と遊びが子どもを育てる

附属幼稚園

30年ほど前、日本の幼児教育には大きな転換がありました。子どもたちの自発的な遊びこそが保育の中心とされるようになったのです。奈良女子大学の附属幼稚園は、附属小学校と同様に大正自由教育の流れをひいて、早くから遊び中心の自由保育に取り組む、幼児教育の転換の先がけとなりました。自由保育では、子どもがそれぞれの興味に応じて様々な活動を選ぶことができる、

運動を代表する学校だったので、教育の主人公は子どもたちであり、学校は、子どもの生活から立ち上がる主体的な学びの場であらなければならない、というのがこの学校のモットーでした。

豊かな環境を用意することが大切です。



のびのびと遊ぶ子どもたち

附属学校から教育の本質を学ぶ

奈良女子大学の教職課程

奈良女子大学では幼稚園・小学校、そして中学校高校の様々な科目の教員免許を取得することができます(詳細はホームページhttp://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi6.html「QRコード」をご覧ください)。

教職課程では附属学校で教育実習を行い、教育法の授業では附属学校の先生方に直接学びます。上述のように奈良女子大学の附属学校は、教育のあり方を常に根本から問い、教育改革の先頭に立ちました。ですからその実践に即して学ぶことは、これから激しく変化する社会で働く教師にとって、大きな力と指針になるはずです。皆さんも奈良女で教師を志しませんか。



教育システム研究開発センター長(文学部人間科学科教育学人間学コース教授) 西村 拓生

学生が賃貸アパートのリフォームに協力

暮らしやすさ目線のより良い空間

「民間の賃貸アパートのリフォームに協力されたことですが、詳しく教えていただけますか？」

今回、リフォームに携わる機会をいただき、女子大生向けの部屋に生まれ変わらせるといふ課題の実現を目指しました。三つのグループに分かれてデザインを考え、コンペを行いました。その結果、シンプルながら散りばめられた可愛らしさを追求した「大人可愛い」をデザインコンセプトとして進めていくことになりました。選ばれなかった二案



の良いところも織り交ぜ、当時一人暮らしをしていたメンバーの経験から得たアイデアを活かし設計を行いました。

小さな部屋であったため、収納に関しては細かなところにも気を配りました。重たいものを運ぶのが大変だという女性ならではの視点を活かし、備え付けの収納を工夫しました。ドッドスペースである冷蔵庫置き場の下に下駄箱を作ったことや、奥行きのある押し入れを縦方向に使えるように、ポールのあるクローゼットに変更したことは工夫したポイントです。また、壁一面の飾り棚は、学生自らが材料とサイズの検討などをし、自由に高さ調節ができるようにしました。

「なぜ可動式の棚にされたのですか？」

奈良女子大学住環境学科での学びは、「暮らしやすさ」として空間がどうあったら良いのか」を考えることに重きが置かれています。この学びを活かして、借りた人自身の暮らしの特徴やその人らしさを反映させるにはどうすればよいかを検討しました。取り外しのできる棚板の数を自由に変えることで、それぞれの暮らしに合う使い方ができるようにしました。

「このプロジェクトを通して学んだことは何ですか？」

設計の授業では、図面を引いたり模型を作ったりする中で、理想の空間をつくること、思い通りにできません。しかし、実際に形に



するととなると、予算というシビアな現実があります。計画を全て実現させることは困難でしたので、優先順位をつけ、理想に近づけました。



また、コンセプトである「大人可愛い」に

関して、学生それぞれが思うイメージが違うので、どうすれば住む人にとっての「可愛い」となるのが悩みました。検討に検討を重ね、万人受けする可愛らしさを着地点としました。

「奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科での学びについて教えてください」

建築・住環境を学ぶといっても、「意匠設計」といったデザインを重視する切り口や、「構造設計」といった安全性などを重視する切り口など、様々な分野があります。奈良女子大学の住環境学科では、「一人から見た空間」という視点を大切にしているので、使う人の目線で空間を設計したい人にはオススメです。今回のプロジェクトでも、単に可愛らしさを求めるだけでなく、使いやすくてなおかつ可愛い、というデザインと使いやすさのバランスを意識し、住む人目線で考えました。

また、奈良女子大学は、学生二人に対する先生の数が多いため、先生方も学生一人ひとりを手厚く見て下さいます。学生同士も一緒に課題に取り組みことで、結束力が生まれます。奈良という立地も魅力です。奈良には、様々な時代の素敵な建物があります。東大寺・春日大社などの古い建物はもちろん、キャンパス内の記念館のような明治時代に建てられた洋風の近代建築も身近にあるんです。講義での知識を活かして建物を見ると、見方が変わり面白いポイントがたくさん見つかりますよ。

「最後に、読者（高校生）に向けてのメッセージを！」

専門的な知識がない中で大学選びや学部選びをすることは難しいことだと思いが、入ってみたら楽しいと感じることも多いです。特に建築・住環境を学びたいと考えている方は、多様な切り口がありますので、その中で自分がどんな視点から見ることが興味があるのかを考えて進路選択されることをオススメします。

(学生記者…中桐侑美)

学生記者の声



坂本 梓(さかもと あずさ)

文学部人文社会科学情報学コース4回生
出身校:兵庫県立伊丹高等学校

岡潔博士に関する記事の年表部分を担当しました。調べを進める中で、改めて岡潔博士の成し遂げたことの偉大さを実感することができ、楽しかったです。



山本 萌(やまもと めぐみ)

文学部人間科学科2回生
出身校:聖心学園中等教育学校(奈良県)

生活環境学部の高地りべカ先生取材させていただきました。前号に続き、学生記者として活動できたこと、とても嬉しく思います。栄養疫学の面白さが少しでも伝わっていたら嬉しいです。



中根 明日香(なかね あすか)

理学部数物科学科数物連携コース3回生
出身校:四天王寺高等学校(大阪府)

今回の取材では確率・統計の仕組みやそれが実社会でどのように役立っているのかという、大変興味深い貴重なお話を伺うことができました。数学の奥深さや面白さを伝えることができていれば幸いです。

学生記者の皆さんへ「記者活動証」を授与!!

～広報企画室より～

平成30年2月23日、広報誌「ならじょ(奈良女) Today」の作成に尽力した学生記者の皆さんに対し、「記者活動証」授与式を実施しました。

広報企画室では、平成27年度から、広報誌に学生の目線・感性を活かすことを目的に学生記者を導入しており、平成29年度は10名の学生が、広報誌の企画、取材、構成、執筆及び編集作業に参加しました。

授与式では、まずはじめに、広報企画室長である小路田泰直理事(企画・広報担当)から、学生記者の活躍を称賛する言葉があり、続いて、学生記者一人ひとりに対し、各々が携わった活動履歴が記された「記者活動証」が授与されました。

学生記者からは、「取材を通して自分の所属学部には属さない教員の話が聴けて興味深かった」、「大学の新たな魅力を発見するきっかけとなった」、「記者活動の経験を就職活動等に活かしたい」などの声が上がりました。

今号の数々の誌面にも学生記者の皆さんが登場します。大学の魅力発信に取り組む彼女たちの意気込みを感じてみてください!!



学生表彰

平成29年度学生表彰

奈良女子大学では、課外活動や社会的活動などで特に顕著な成果を挙げた学生の個人又は団体を年に一度表彰しています。平成29年度の表彰式が、平成30年2月6日(火)に行われました。受賞者・団体は以下の通りです。(学年は平成29年度のもので)

【個人表彰者】

氏名	所属	サークル等	表彰対象となった業績
水口 加琳	文学部 1回生	硬式テニス部	第41回奈良学生テニス選手権大会 女子シングルス 1位 (H29.11.25) 第41回奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルス 1位 (H29.11.26)
山口 真奈	生活環境学部食物栄養学科 1回生	硬式テニス部	第41回奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルス 1位 (H29.11.26)

【団体表彰者】

サークル等	表彰対象となった業績
音楽部	第72回関西合唱コンクール 大学ユース合唱の部(少人数) 金賞 (H29.10.8)
放送局 B-naRadio	第34回NHK全国大学放送コンテスト 映像番組部門 第2位 (H29.12.2) 第34回NHK全国大学放送コンテスト 映像CM部門 第3位 (H29.12.2)
硬式テニス部	第55回近畿地区国立大学体育大会 テニスの部 女子 準優勝 (H29.12.17)



平成31年度入試情報

大学院博士前期課程・後期課程の入試についてはホームページをご覧ください。▶http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi2_b.html

学部	学科	入学定員	日程区分・募集人員					学べる内容
			一般入試		AO入試	推薦入試	私費外国人留学生入試	
			前期日程	後期日程				
文学部	人文社会学科	60					時間(歴史)・空間(地理)・関係(社会)をテーマに学びます。古代文化学、歴史学、社会情報学、地域環境学、文化メディア学の5コース制。 世界の主要言語・文学・文化現象を学び、国際社会で活躍する人材を育成します。日本アジア言語文化学とヨーロッパ・アメリカ言語文化学の2コース制。 社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点をあわせ、人間の存在と形成について総合的に学びます。教育学・人間学と心理学の2コース制。	
	言語文化学科	50	99	45	6	—		
	人間科学科	40						
	小計	150	99	45	6	—		
理学部	数物科学科	63	35	20	—	8	自然現象に対して数理的手法を駆使し、広い視野を持ち、変化し続ける社会に対応できる人材を育成します。数学、物理学、数物連携の3コース制。 物質や生命とそれらを取り巻く地球環境を総合的に捉えた視野を持つ人材を育成します。化学、生物科学、環境科学の3コースがあります。	
	化学生物環境学科	化学コース	23			4		
		生物科学コース	23	12	—	4		
		環境科学コース	17			4		
	小計	150	98	32	—	20		
生活環境学部	食物栄養学科	35	20	10	—	5	専門性の高い講義や実験、実習を通じ、食と栄養のプロフェッショナルを育成します。所定単位修得で栄養士免許や管理栄養士受験資格などが得られます。 心と身体の健康について総合的に学びます。生活健康学、スポーツ健康科学、臨床心理学の3つのコースがあります。 安全で快適な衣環境の構築やライフコンピューティングにより生活改善の能力を培います。衣環境学と生活情報通信科学の2コース制。 安全・安心で快適に生活できる住環境を創造できる力を培います。学びの対象はインテリア、建築から地域コミュニティ、都市計画と広範囲に及びます。 生活を取り巻く様々な文化現象を、法律・歴史・ジェンダーなど多様な視点から分析します。生活文化の向上に貢献できる人材を育成します。	
	心身健康学科	40	22	8	—	10		
	情報衣環境学科	衣環境学コース	35	10	5	—		5
		生活情報通信科学コース		11				4
	住環境学科	35	23	7	—	5		
	生活文化学科	30	18	7	—	5		
	小計	175	104	37	—	34		
合計		475	301	114	6	54		

備考 (1) 文学部においては、前・後期日程とも、学科別の志望は認められません。第2年度から各学科に所属することになります。その際、定員を超過する学科については選考を行うことがあります。なお、AO入試については、本学が指定する2つの分野の中から1つを選択して志望してください。
 (2) 理学部数物科学科においては、第2年度から数学コース、物理学コース、数物連携コースのいずれかに所属することになります。入試の時点ではコース選択を行いません。理学部化学生物環境学科前・後期日程では志望するコースを選択してください。なお、前期日程においては第3志望までコース選択することができます。後期日程においては、コース毎の募集人員は定めていませんが、学科内で第2志望までコース選択することができます。
 (3) 生活環境学部においては、前・後期日程とも第3志望まで学科(情報衣環境学学科はコースまで)を選択することができます。
 心身健康学科においては、第3年度からコースに所属することになりますが、定員を超過するコースについては選考を行うことがあります。
 情報衣環境学学科については第1年度からコースに所属することになります。後期日程については、総合得点により衣環境学コース及び生活情報通信科学コースを一括で合否判定します。
 (4) 各学部学科で受験を要する教科・科目、配点及びその他入試に関する詳細情報については必ず平成31年度入学者選考要項を確認してください。
 (5) 各学部の前期日程の募集人員には、本学附属中等教育学校との高大連携特別教育プログラムに基づく特別入試による募集人員(文学部2名以内、理学部2名以内、生活環境学部3名以内)を含みます。
 (6) 私費外国人留学生入試は、各学部の入学定員外で募集します。

学生の就職活動の現況と奈良女子大学の取り組み

就職活動は3回生の冬から本格スタートとなりますが、インターンシップ・各種セミナーへの参加など、3回生の春からしっかりと準備していく必要があります。奈良女子大学では在学生の就職活動の支援を目的に、主に以下のサポートを行っています。他にも学生一人一人の状況に合わせ、柔軟にサポートを実施しています。

- ▶ **キャリア・アドバイザーの個別相談(予約制)を行っています!**
キャリア・カウンセラー資格をもつ2名のキャリア・アドバイザーが個別にアドバイス等を行っています。平日は原則毎日相談が可能で、進路選択・就職活動上の悩みや疑問など、どんなことでも相談できます。在学生だけでなく、卒業生も利用できます。
- ▶ **企業就職・公務員・教員セミナーを開催しています!**
より効果的な就職活動ができるように、就職活動対策や教員・公務員採用試験対策等、時期に応じて必要な内容を設定し、年間約40回開催しています。内容の詳細や日時・教室の変更等は、HP(<http://koto.nara-wu.ac.jp/syusyoku/adr.htm>)で随時お知らせしています。
- ▶ **キャリアサポートルームで様々な情報を得ることができます!**
キャリアサポートルームではパソコンやプリンターが使用できるほか、就職関連の書籍・雑誌・新聞や公務員や教員、地方就職に関する情報などを取り揃えています。

平成29年度の実績 (詳しくは<http://koto.nara-wu.ac.jp/syusyoku/syusyoku.htm>をご覧ください)

- 文学部 : 就職者123名(就職率95%<前年度93%>) : 大学院進学者22名
- 理学部 : 就職者 60名(就職率95%<前年度94%>) : 大学院進学者97名
- 生活環境学部 : 就職者138名(就職率99%<前年度98%>) : 大学院進学者52名
- 大学院博士前期課程 : 就職者142名(就職率90%<前年度88%>) : 博士後期課程等進学者11名



文学部	AIGジャパン・ホールディングス(株)、DMG森精機(株)、SCSK(株)、イオンリテール(株)、意数紡績(株)、神戸工業試験場、三和テクノ(株)、住友ゴム工業(株)、第一生命保険(株)、トラスコ中山(株)、日本銀行、日本放送協会、東日本旅客鉄道(株)、ヒルトンブランドバケーションズ(株)、パナソニックスタイル(株)、三井住友銀行、三井物産グローバルロジスティクス(株) ほか 学校教員5名、公務員(国家・地方):17名
理学部	NECプラットフォームズ(株)、Sky(株)、TDK(株)、オムロン(株)、鹿島建設(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、国産産業(株)、クラレトレーディング(株)、シャープ(株)、新日鐵住金(株)、積水化学工業(株)、ダイキン工業(株)、日本電気(株)、日本電産(株)、日本ラッド(株)、富士通(株)、三菱電機(株)、三菱電機ビジネスシステム ほか 学校教員3名、公務員(国家・地方):7名
生活環境学部	JR西日本不動産開発(株)、NSファーファ・ジャパン(株)、SCSK(株)、旭化成(株)、イーピーエス(株)、小野薬品工業(株)、(一財)カケンテストセンター、カゴメ(株)、(独)国立病院機構、住友生命保険相互会社、住友林業(株)、ゼブラ(株)、大日本印刷(株)、高砂熱学工業(株)、(独)中小企業基盤整備機構、東洋スクリーン工業(株)、西日本電信電話(株)、(一財)日本食品分析センター、日本郵便(株)、山崎パン(株)、ライオン(株)、ロート製薬(株)、(株)IXIL、(株)島津製作所、(株)レナウン ほか 学校教員2名、公務員(国家・地方):22名
大学院博士前期課程	JFEスチール(株)、(株)NTTファシリティーズ、血清療法研究所、クオリカブ(株)、(株)小糸製作所、(株)島津製作所、新日鐵住金(株)、新明和工業(株)、住友電気工業(株)、生活協同組合コープ、大和証券(株)、(株)デンソー、東洋紡(株)、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、日清オイリオグループ(株)、パナソニック(株)、(株)日立製作所、本田技研工業(株)、森永製菓(株)、有限責任監査法人トーマツ、(株)良品計画、(株)ローム ほか 学校教員7名、公務員(国家・地方):9名

奈良女子大学 総合型選抜 「Q」実施予告

国立大学法人奈良女子大学では、下記の要領で新しい入試を開始します。

- **開始時期**
出願・選考 2020年 秋
1期生入学 2021年 4月
- **趣旨**
奈良女子大学では、2021年度入試から、全学でいわゆるAO型の入試を開始します。
名称は総合型選抜「Q」。「探究」のキュー、「question」と「quest」のQです。単に答えを出すのではなく、自分で問いを立ててそれを解き明かしていく。そういうことが好きなひとをこの入試は歓迎します。
なぜでしょうか。それは大学という場がそのような世界だからです。そこにいるのは教師と生徒ではありません。教員も学生もともに探究をする者として同じ地平に立ち、互いの知的関心を尊重しながら進んでいく。それが大学です。そこでは、試験問題等を解くべく身につけた勉強の能力だけではなく、日頃から瑞々しい問いを抱き、考え、答えをだし、さらにそれを疑う力が大切です。
あなたの中のキラリと光るなにか。それをじっくり見せてもらえる入試を実施します。
奈良という落ち着いた環境で、知的好奇心を存分にぶくらしませ、何かに熱中する4年間を過ごして来てください。

- **受け入れ** 全学部
- **募集人員** 全学で33名
- **選抜方法** 二段階選抜
第1次選考:書類審査
第2次選考:口述試験・小論文・プレゼンテーションや実験など
- **問合せ** 〒630-8506 奈良市北魚屋西町
国立大学法人奈良女子大学 入試課
Tel 0742-20-3353
E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp
- **備考**
※この総合型選抜に出願できるのは、合格した場合には入学することを確約できる者に限ります。
※出願資格は、本学ウェブサイトの総合型選抜「Q」のページ[入試・入学情報→学部入試(学生募集等)]を参照のこと。
※この総合型選抜の募集人員(文学部12名以内、理学部10名以内、生活環境学部11名以内)は、各学部の前期日程の募集人員に含みます。
※本パンフレットは<予告>であり、今後、部分的に変更されることがあります。重要な変更は本学ウェブサイト(総合型選抜「Q」のページ等)で周知します。
※この総合型選抜「Q」の実施に伴い、現行の文学部AO入試は2021年度入試から募集を停止します。



奈良女子大学新入試の

3つの特徴

- 1 総合型選抜=新しいAO型の入試(2021年4月1期生入学)
大学入試センターによる試験は合否判定には用いられません
- 2 「探究」の力を存分に発揮できる
多彩な選考方法=事前課題に取り組んだり、実験をしたり...
- 3 全学部で計33名(全学定員の約7%)を募集
文理、生活科学がバランスよく揃った総合大学をあなたのフィールドに

選抜のスケジュール

出願 第1次選考用の書類提出 9月上旬	第1次選考結果発表 書類選考による 9月中~下旬	第2次選考 10月中~下旬	合格発表 11月上~中旬
---------------------------	--------------------------------	------------------	-----------------

テニス部での経験

私たち硬式テニス部は現在4年生4人、3年生1人、2年生4人、1年生4人と少人数ですが、先輩・後輩の仲が良く、厳しい練習や試合の中でも楽しむことを忘れない姿勢を大切に、日々の練習に取り組んでいます。顧問の先生やコーチは自ら練習に参加し、分かりやすく丁寧に指導下さるとともに、テニスコートは整備が行き届いており、恵まれた環境で活動させていただいています。経験者、初心者関係なくテニスが好きだという気持ちがあれば、上達することが出来る部活動です。

テニスは個人競技ですが、部としては、大学として戦う団体戦に重きを置いています。



上:団体戦前に円陣を組み団結の様子 下:試合の様子

団体戦の魅力は一体感です。たとえメンバーに選ばれることが出来なくても、選手となったメンバーをサポートし全力で応援します。選手となったメンバーはそれに応えるべく、プレーします。また、部員だけでなく対戦相手も分析して下さる先生やコーチ、応援の言葉を下さるOGも心強いサポーターです。様々な支えがあるおかげで、昨年度はリーグ戦4部昇格という目標を達成し、近畿国立大学体育大会では準優勝という結果を残すことが出来ました。そして、今年度はさらなる目標を掲げ、リーグ戦3部昇格、近畿国立体育大会優勝を目指し、切磋琢磨しています。

硬式テニス部では日々の練習や大会、合宿などの活動を通して、テニス技術を向上させることができるのももちろん、勉強と部活動を両立させる時間の使い方、仲間と協力することの大切さ、といった大学生活を充実させるための様々なエッセンスを学ぶことができます。これからも今テニスができる環境に感謝をしながら、一生懸命に活動を続けていきたいと思います。



牧井 美波
ひらいみなみ
生活環境学部心身健康学科
生活健康学コース3年生
出身校:奈良県立奈良高等学校

点字×奈良女生

私は現在、点訳部の副部長を務めています。1年生のころから点訳部員として活動してきた私から皆さんに、点訳部の活動や魅力、これまでの思い出を紹介いたします。

点訳部は現在11名で活動しているアットホームな部です。週1回の活動では、主に点字盤を使って実際に点字を打つ練習をします。他にも点訳ソフトを使って歌詞を点訳したり、小中学校や福祉施設に点字を教えに行ったり、点字教室のお手伝いもします。点字を通じて様々な方々と触れ合う貴重な経験が出来るのが点訳部の魅力です。また、毎年恋部祭にブースを出していて、大勢の方々にいらしていただいています。

そして、今回ぜひ紹介したいのが、夏季休暇中に実施する合宿です。歴代の点訳部員が毎年続けている恒例行事で、富士山を間近に望む静岡県の駿河療養所を訪ねます。ハンセン病療養所として長い歴史をもつこの施設で、ハンセン病について勉強したり入所者の方々と交流したりと、2泊3日とはいえ、充実の日々を過ごします。昨年の合宿では幹事だったこともあり、また、新聞にも取り上げていただき、私にとっても忘れられない大切な行事となりました。入所者の方々は、「今年も奈良さんたち(奈良女の学生たち)が来てくれた!」



太田 麻友
おおた まゆ
文学部人文社会科学部歴史学コース3年生
出身校:静岡県西浜女子学園高等学校

と、温かく迎えてくださいます。そして、その温もりを思い返し、卒業後も大勢のOGが参加してくださいませ。

私は点訳部員であることで、普通に学生生活を送っているだけでは決して体験できない経験を積む機会を得ています。点字のこと、視覚障害のこと、そしてハンセン病のこと、これから社会にははたたく大学生として学ぶべきことがたくさん学べる、そんな点訳部へ奈良女に入学された時はぜひどうぞ!



点字盤で点字を打つ様子

奈良女子大学なでしこ基金

平成29年度収支報告

皆様方によるなでしこ基金へのご理解のもと、平成29年4月1日より平成30年3月31日までの1年間に、14,493千円(古本募金 762千円を含む)のご寄附をいただきました。心から、温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。

お寄せいただきました寄附金は、次のとおり、なでしこ基金による様々な事業の貴重な資金として、有効に活用させていただきました。

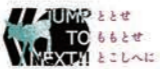
【平成29年度支出状況】

	金額(千円)	実施内容
学生育英事業	3,194	学長賞19名 稲葉力三記念教育研究奨励賞2名 環境機器奨励賞3名
教育・研究環境整備事業	661	岡潔奨励賞、女性史学賞 [®]
国際交流事業	5,974	留学生奨学金、ホームステイ経費等
合計	9,829	



※文化功労者 脇田晴子氏の提唱により2005年に創設され、本学アジア・ジェンダー文化研究センターが運営を継承。12月16日、本学記念館にて女性史学賞授与式を開催。

「創立百十周年記念事業特定基金」へのご協力をお願いします



奈良女子大学は、2019年5月に創立百十周年を迎えます。この記念すべき節目にあたり、本学は新たな学生寄宿舎の整備にさらに重点的に取り組むべく、「奈良女子大学なでしこ基金創立百十周年記念事業特定基金」を設けました。日本各地ならびに世界から集う学生に対し、安全で安心できる生活拠点を提供することは、本学の大きな使命といえます。皆様の温かなお力添えをお願い申し上げます。

【募金の期間】2018年6月-2019年5月
【目標額】1億円
【ご協力をお願いする金額】5千円以上(学生は2千円以上)



←創立百十周年記念事業特定基金
HPはこちら



木造メゾネットタイプ

奈良女生協50周年♡

50年の思いをつなぐ～先輩から後輩に受け継がれる助け合いのバトン～



和気あいあいとした雰囲気での学長との懇談

奈良女子大学の学生や教職員のくらしを共に支えてきた奈良女子大学生生活協同組合は、2018年4月22日、設立50周年を迎えました。1950年代終わりから生協の設立に向けた活動が行われ、1968年に組合員1,122名、従業員3名、学生専務理事1名からなる奈良女子大学生協が始まりました。全国の大学生協の中では規模は小さいですが、組合員の声やニーズから生まれた数多くのオリジナルメニューや商品を提供しています。大学生協連合会による「学生生活実態調査」では、長年、学生組合員の満足度全国1位を獲得するなど、学生に愛される大学生協となりました。



今年は、50周年を記念する活動を企画しています。昨年12月には、50周年記念誌の取材のため、学長と学生組合員がランチをとりながら、生協の過去・現在・未来についての懇談を行いました。ロゴマークの募集も行い、生協のあたたかみと安心を表現した可愛いデザインが選ばれました。2018年9月8日に開催する記念イベントや記念セールについては、WINDY(学生委員会)を中心とする組合員の手によって検討を重ねています。

大学生協は、毎年組合員が入れ替わります。50年前の、私たちが直接には知ることのない先輩方の「生協を作りたい!!」という思いが途切れることなく現在にまでつながってきたことを組合員みんなでお祝いしましょう。そして、小さな大学生協だからこそできた、組合員同士の距離の近さ、顔の見える関係を生かした「奈良女オンリー」の活動の輪を未来につなげていくことができるよう、共に考えていきましょう。

奈良女子大学生協理事長(文学部人文社会科学部地域環境学コース准教授) 西村 雄一郎

あの頃の奈良女へタイムスリップ!!

=本学自慢の名物教授 第1回 岡潔編=



プロフィール

1901年	大阪市に生まれる
1904年	和歌山県伊都郡紀見村(現在の橋本市)で幼年期・少年期を送る
1925年	京都帝国大学理学部数学科を卒業 同大学講師に就任(同年小山みちと結婚)
1929年	フランスに3年間留学
1932年	広島文理科大学助教授に赴任
1938年	病気のため休職、広島から紀見村に帰る
1940年	広島文理科大学を依願退職、理学博士の学位を取得
1942年	郷里において研究に専念
1949年	奈良女子大学理家政学部教授に就任
1951年	奈良市に転居 昭和25年度日本学士院賞を受賞
1954年	昭和28年度朝日文化賞を受賞 京都大学理学部非常勤講師に就任
1960年	昭和35年度文化勲章を受章
1961年	橋本市名誉市民に選任される
1964年	奈良女子大学を定年退職、奈良女子大学名誉教授の称号を授与 京都大学非常勤講師退職
1968年	奈良市名誉市民に選任される
1969年	京都産業大学教授に就任
1978年	76歳で没

研究歴

1929年	生涯の研究課題を多変数函数論の分野に定める
1934年	H.BehnkeとP.Thullen共著の本を入手し、3つの主要問題が未解決に残されていることの意義がわかる 本格的に研究を開始
1935年	問題解決の“第一着手”である“上空移行の原理”を発見
1936年	“多変数解析函数について”と題する一連の論文の(以下、省略)第I論文を公表
~1941年	第II論文から第V論文を公表
1942年	第VI論文で第二の難問である単葉、2次元の場合が解決
1950年	“不定域イデアル”の第VII論文がフランス数学会の雑誌に掲載される
1951年	第VIII論文で“上空移行の原理”を内分岐域の場合に拡張する問題を解決
1953年	第IX論文(=不分岐多葉域の場合の研究の総集編)において、これにより当初の主要問題がすべて解決される
1962年	初期のフランス留学中の研究に関連した第X論文(岡潔が公表した最後の論文)を公表

◆ 岡潔先生との思い出 ~「数学がわかるということ」~

1回生の時、卒業生送別の目的で数学科の先生方と学生が一堂に会した席でした。全員が自己紹介を兼ね一言ずつ発言することになりました。人前で話すのが苦手だった私は緊張しながら「高校時代は数学が大好きでしたが、大学に入ってから数学がわからなくなりました」と言いました。高校時代に解析Iと解析IIは受験科目でもあり得意科目でしたが、大学生になってから解析概論の講義を受けてもさっぱりピンとこない、数学についてなにか考え違いをしていたのではないかと気になっていたのです。

すると、岡先生がそれを聞きとがめられ「あなたは数学がわかるということはどう考えているのですか?」とおっしゃったのです。先生からの予期せぬ質問で返事に窮していると、横から上級生が助け舟を出して下さってその場はどうか収まりましたが、私は思いきり冷や汗をかき、後々まで自分のうかつな発言を恥じ入りました。

それから数十年、岡先生の業績や遺稿が整理、公開され、その展示を見学する機会を得ました。その中に先生直筆の次のことばを見つけて、「数学がわかる」ということについて久々に思いを巡らせたことでした。

例へば画がわかる詩がわかる宗教がわかる やがて数学がわかると云ふときのわかるとは譬へば「灯を提って暗い部屋に入るようなものであつて 云ふならば瞑即滅 明常存」の意であります。(1956.4.19) 岡 潔

さらに、また歳月は流れ、今年先生没後40年になります。私は現在も落ちこぼれのまま、あれこれと思い出し、岡先生をお供しています。

本田 元子(ほんだ もとこ) 昭和37年 理学部数学科卒業



岡潔先生とのクラス集合写真(数学科新入生 8号館の前で1958.5.26)

◆ 人生を決定づけた岡潔先生との出会い

高校の先輩に奈良女子大に岡潔先生がおられるからと受験を勧められたのが、先生との出会いのきっかけでした。ここに紹介するのは、私が見聞きしたほんの一片です。

1年生のガイダンスで、原書を読むためにはフランス語とドイツ語の両方を選択するよう先生から助言がありました。我々を数学者の卵とみておられた証です。

先生は我々にグルサーの「解析学」をフランス語の原書で読むことのみを言われました。私はそれさえやればよいのだと勝手に解釈し、他の勉強をサボっていました。

しかし後に、岡先生ご自身が数学をやると決めたとき、リーマン全集位は読んでいたと聞かされて、愕然としました。言葉を表面的に理解するだけでなく、その言葉の奥に大事なことが潜んでいることを学びました。

我々、岡先生の研究メンバーの研究室は、ひと味違っていました。岡先生をはじめとする数名の先生方、私たち研究生が1つの大教室で窓際に机を並べ、勉強していました。昼休みには、部屋の中央の机を利用して、皆で五目並べもしました。

正月には先生のお宅に一同が集まり、囲碁をし、奥様お手製のおせちをごちそうになりました。岡先生の流れをくむ研究グループでは、今でも会食の時には必ず囲碁をするという習慣を続けています。

私が高大学の大学院を受験するとき、先生の推薦文は、「続けられると思います」の一文でした。その言葉通り、細々ながら現在も数学を続けています。

平井 悦子(ひらい えつこ) 昭和37年 理学部数学科卒業 昭和38年 理学専攻科修了



編集・発行/奈良女子大学広報企画室 編集責任者/室長 小路田泰直 連絡先/奈良女子大学総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町 Tel 0742(20)3220 Fax 0742(20)3205 E-mail somu02@jimu.nara-wu.ac.jp
ならじよ「Today」へのご意見・ご感想を是非お聞かせ下さい。より良い誌面作成のため皆様の叱咤激励をお待ちしています。(編集部)

・バックナンバーはHPをご覧ください。▶ <http://www.nara-wu.ac.jp/nwu/intro/today/index.html>